

令和8年度 第1回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会 会議録

- 1 日 時 令和8年8月5日(水) 15時から17時
- 2 場 所 さいたま市大宮盆栽美術館 2階 講座室
- 3 出席者 (1) 委員(9名)(委員長以下五十音順)
小島孝夫委員長、大和田昌宏副委員長、井上かおり委員、杉山正司委員、
中崎善匡委員、高嶋修一委員、谷中智恵子委員、三輪史委員、森紀与子委員
(2) 欠席委員
金子年一委員
(3) 事務局
スポーツ文化局 石塚局長
文化部 川田部長
大宮盆栽美術館 清水館長、松野副館長
山川係長、田口係長(学芸員)、岩田主査(学芸員)
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
(1) 開 会
(2) 挨拶 スポーツ文化局長
(3) 報 告
・大宮盆栽村これからの100年に向けて～大宮盆栽振興について～【資料1】
・令和7度大宮盆栽美術館展覧会事業等について【資料2】
・令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について【資料3】
(4) 議 事
・令和9年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について(案)【資料4】
(5) その他
(6) 閉 会

<議事内容要約>

報告 大宮盆栽村これからの100年に向けて～大宮盆栽振興について～

事務局から資料1について説明。

事務局 報告事項についてご質問等ありますでしょうか。

委 員 プロジェクトが動き出すとのことですが、国内外に向けての情報発信も行っていくのでしょうか。

事務局 大宮盆栽のブランドを含め、様々な情報発信を行っていく必要があると考えています。シティセールスの部署や経済局など、これまでも庁内の各所管課で情報発信を行ってききましたが、今後も行っていきます。

委 員 ミッションの「盆栽村のイノベーション」、「若手の「稼ぐ力」の創出」とは、具体的には何を意味しているのでしょうか。大宮盆栽村を盛り上げていく、さいたま市全体が盛り上げていくということでしょうか。

事務局 「盆栽村のイノベーション」については、ビジネスマッチングなどを活用しながら新しい事業に取り組んでいくということを考えています。

「若手の「稼ぐ力」の創出」については、どのように稼ぐ力を作るのか、ということ

をミッションとしています。

4月に新設された大宮盆栽村振興係は、大宮盆栽村に特化した組織です。大宮盆栽村の盆栽園はかつて30園近くありましたが、現在は6園となっています。大宮盆栽村をどのように高めていくか、エリアマネジメントなど、複合的な物を考えています。

委員 「大宮盆栽」振興係ではなく、大宮盆栽「村」振興係ということでしょうか。

事務局 そのとおりです。

委員 これまでの「さいたま国際盆栽アカデミー」は趣味としての意味合いの講座でした。新たに創設されるコースは、盆栽師を育成するということでしょうか。

事務局 新たなコースのゴールは検討中ですが、大宮盆栽の技術を継承し、盆栽を仕事とする人材の育成を目指してしています。

委員 現在の海外向けのコースは10人以上が要件となっています。参加のハードルを下げる検討をしていただきたいです。

委員長 現在のコースへの要望ということですね。

盆栽振興庁内検討会議について、下部組織が機能しないとうまくいきません。大宮盆栽美術館も下部組織に入っているのでしょうか。

事務局 大宮盆栽美術館も入っています。

委員長 大宮盆栽美術館は地域の方がたと直につながっているのも、美術館が盆栽振興に果たす役割は大きいと思います。下部組織の内容まで資料に記載されているとより理解しやすかったと思います。

報告 令和7年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

事務局から資料2について説明。

事務局 報告事項についてご質問等ありますでしょうか。

委員 高校、大学との学校連携はどのような取組を行ったのでしょうか。

また、盆栽村関係資料の目録は一般の人に向けての公開は行っているのでしょうか。

事務局 学校連携については、越谷西高等学校、浦和北高等学校の美術の科目で、盆栽づくりを行う前段として、盆栽鑑賞の基礎について学芸員が話しました。

また、杉戸農業高等学校の造園科へ2日間にわたり学芸員と盆栽技師が出張し、大宮盆栽村の歴史と鑑賞の基礎について座学の講義を行ったほか、盆栽を1人1鉢作成しました。

このほか、淑徳大学では、盆栽を地域の産業資源として考えるという授業の中で、盆栽村の魅力や課題についての話をしました。

特別展の目録については、データ上での目録としての整理はできていますが、公開はしていません。

委員 展覧会を行うと来館者が増えるというような相関関係はあるのでしょうか。

事務局 美術館としての大きな目玉は特別展ということで、周知も行っています。昨年度は大宮盆栽村の開村100周年ということで、当館では特別展として盆栽村の歴史を紹介しました。また、各所管も様々なイベントや広報を行い、特に多くの方が来館しました。

委員 調査研究活動の8mmフィルムのデータは、一般の方がどこかで見られるのでしょうか。

事務局 データはDVDにしていますが、現状は公開していません。公開、閲覧の仕方はセットにして考えなければいけないと考えています。デジタルアーカイブについて考える必要がありますが、現状のシステムでは難しい状況です。数年間をかけてサーバーの予算措置を考える必要があります。

- 委員 市のアーカイブズセンターとの連携は考えられるのでしょうか。
- 事務局 市のアーカイブズセンターが受け入れ、公開できるか探りたいと考えています。
- 委員 私自身が美術館のサポーターとして活動している中で、サポーターとして公民館での出張講座に参加して感じたことがあります。参加者は盆栽を作った後、どう育てていけばよいか、心配しているようです。美術館で以前行っていた「盆栽相談デー」は無くなりましたが、「美術館で作成した作品の相談を美術館で受入れてくれないのか。」「盆栽相談デーを復活してほしい。」という声もあります。
- また、さいたま国際盆栽アカデミーについては、卒業生の受け皿があいまいだと感じます。卒業後にサポーターとして活動している人もいますが、条件が厳しく、合わないという方もいます。講座で作成した盆栽を今後どうしたら良いのかをサポートしてもらえると良いのではないかと感じました。
- 事務局 盆栽を作った後のフォローアップについては、当館のホームページに、各盆栽園で相談に乗れることを掲載していますが、実際にどのくらいの方が盆栽園に相談に行っているかまでは追えていません。盆栽相談デーの実施については、美術館で完結するのではなく、盆栽村の盆栽園へつなげていきたいという思いで見直しました。個別に美術館に電話をいただいて相談に乗ることはしていますが、仕組みとして公けにしているわけではないので、今後、検討していきたいと思います。
- アカデミー卒業生の受け皿については、サポーターとしてボランティアに参加していただける方の条件を強くし、サポーターの活動内容のうち、アカデミーの講座の補助を廃止しました。講師と業者とで、十分な人員で講座を運営することができるという判断、そして、有料の講座に卒業生が出続けるのはどうかという意見もあったためです。
- 地域に貢献いただけるような、アカデミーで学んだ方の活動の場を考えていけたらと思います。

報告 令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

- 事務局から資料3について説明。
- 委員長 報告事項についてご質問等ございますでしょうか。
- 委員 特別展図録の「3D データ付き」とは、どのような物でしょうか。また、学校連携について、大学との動きはありますか。
- 事務局 図録に記載している BONSAIENCE とは、一昨年度から当館と連携している団体です。「BONSAIENCE Museum」として、彼らの技術で撮影した当館盆栽の3D データを公開しています。これを、図録にリンクを貼って、紙媒体だけでなく3D でも見ることでできる仕組みを考えたいと思っています。
- 学校連携について、大学は今のところオファーはありません。こちら側からアプローチしても良いと感じています。
- 委員 7年度の報告にも関わりますが、人事異動により、これまで担当していた方の調査研究や目録などは継続して取り組んでもらえるのでしょうか。また、新しく異動されてきた学芸員の紹介と、異動した学芸員の現状について教えてください。
- 事務局 新たな学芸員は、岩槻人形博物館から異動してきました。岩槻人形博物館の開館準備から9年半携わり、日本近世史が専門です。人形職人の調査などを行ってきました。今後は盆栽村の歴史や技師の調査研究を進めていきたいと考えています。
- 異動した学芸員は4月からは漫画会館で勤務しています。今年度は北沢楽天生誕 150

- 年を迎える年であり、当学芸員の持ち味を出しつつ励んでいます。
- 委員 館同士の連携、調査研究活動についての学芸員同士の情報交換は行っているのでしょうか。
- 事務局 展覧会の際に、レプリカや飾りの道具を借りるという連携を行っています。学芸員の異動があったことが功を奏し、情報共有が進んでいます。秋には漫画会館とコラボレーションしたイベントを行う動きがあります。
- また、現在当館で開催している「ゆかた de 盆美」も過去にイベントの連携を行っています。
- 委員 異動がプラスに働いていると聞いて嬉しく思います。
- 事務局 異動によって調査対象が変わることで、これまでの研究に関連して新たに知り得る内容もあるようです。
- 委員 名樹継承プログラムについて面白い取り組みだと思いますが、進捗はいかがでしょうか。
- 事務局 昨年度、第1回をワークショップとして初めて開催しました。サポーターを対象とし、抽選で実施しました。素材は椿で、植え替えと針金掛けを行いました。新たな素材の準備ができるまでもう1年かかるため、今年度は新たなワークショップの実施は難しい状況です。今年度は、昨年度実施した内容の経過観察をしていきます。

議事 令和9年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

- 事務局から資料4について説明。
- 委員 特別展の「水遣り三年」は非常に面白いと思います。「水遣り体験」など、観光の要素もご検討いただきたいと思います。
- 事務局 最終的には1冊のリーフレットを作りたいと考えています。
- 委員長 盆栽育成の技術体系を整理していただけるとありがたいです。
- 委員 普及事業の特別講座について、障害のある方に向けた取組は非常によいと思います。授業の教材としても使わせていただきたいと思います。
- 委員 国際芸術祭との関わりについて、特別講演や特別パフォーマンスなどのイベントはあるのでしょうか。
- また、さいたま国際盆栽アカデミーについて、外国人向けコースが今年度、昨年度と実施されていないとのことですが、申込みを待っているものなのでしょうか、お知らせはしているのでしょうか。せっかく企画されるのであれば、申込みを増やすような働きかけをされたほうが良いと思います。
- 事務局 芸術祭のコラボレーション展示は、現時点では展覧会のみです。特別講演を組んでいただけるよう話してみたいと思います。
- さいたま国際盆栽アカデミーについての情報は、ホームページで公開している程度となります。予算は年間2件分のため、多くの方を受入れることはできませんが、確実に消化できるように関係者にPRしていきたいと思います。
- 委員 県は県内の観光コンテンツを民間とつなげたり、プロモーションを行ったりすることに力を入れています。今後、企画展がどのタイミングで開催されるかが分かれば、海外へのアピールについても協力できる部分もあると思います。
- 委員長 お諮りいたします。「令和9年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について」は、事務局案の内容でよろしいでしょうか。
- 委員 異議なし。

委員長 それでは、「令和9年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について」は、事務局の原案どおりとします。

その他 撮影可能エリアについて

事務局 現在はコレクションギャラリーを撮影禁止としていますが、今後はコレクションギャラリーを含め、原則として全館を撮影可能とする運用に変更する予定です。ただし、著作権上の制約がある作品や、撮影による影響が懸念される展示物については、個別に撮影禁止の表示を行い、従来どおり撮影不可とします。

今回の見直しは、展示パネルの記録や作品鑑賞の思い出として撮影したいという来館者のニーズに応えるとともに、来館者の SNS 等を通じて当館の展示や魅力を広く発信していただくことで、当館の認知度向上や来館促進につなげることを目的としています。今後は、撮影の可否が来館者に分かりやすく伝わるよう、館内表示や案内方法についても変更します。

なお、変更時期は、9月4日から開催される盆石展の出品者の意向を確認しながら決定したいと考えています。